

本事業で取り組んだ町内会の皆様の声

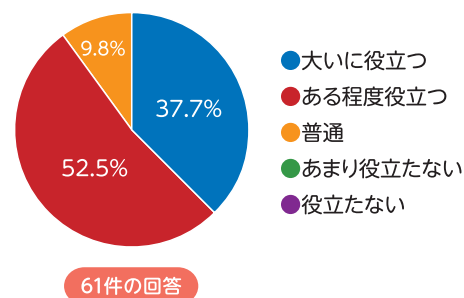
支援の際に各町内会の皆様から感想を伺っており、その一部を紹介します。

- ▶ 不慣れではあるが入り口には立てた感じがする。
- ▶ LINEグループやGoogleドライブ等、初めての経験だったが、当会がここまでできると思っていなかった。ただただ感激している、ここまで進めたのは画期的。
- ▶ やっと形になったので今後は何とか自分たちで公式LINEを運用していけそうと感じている。
- ▶ 今回のような小グループ単位で(支援を受ける)の機会は初めてであり、大変有意義であった。
- ▶ 自分としてはあまり知識がないので、普段聞きなれない単語が多く難しいと感じたが町内会の運用がとても良く改善されたという実感はある。今回教えて頂いたことを後任者へしっかりと引き継いでいけるかは心配ではあるが頑張っていきたいと思う。
- ▶ 公式LINEで情報発信ができるようになり感謝している。徐々に浸透させていきたい。
- ▶ 昨年からLINEを始めたばかりで何とかやってみた状況だったが大変感謝している。

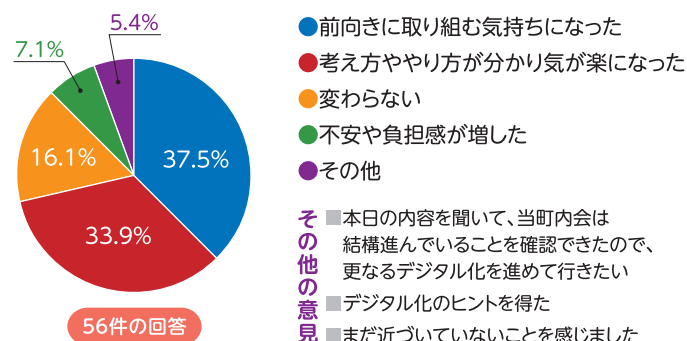


アンケート

今回の実施報告会は、
今後の町内会活動に役立つと思いますか？



今回の実施報告会参加後における町内会活動の
デジタル化に関する考え方について一番近いものをお答えください。



その他の意見
■ 本日の内容を聞いて、当町内会は結構進んでいることを確認できたので、更なるデジタル化を進めて行きたい
■ デジタル化のヒントを得た
■ まだ近づいていないことを感じました

実施報告会に参加した町内会の「町内会デジタル化 事始め」!

- ▶ 先日、町内会で火事があり、その時の連絡を役員同士で作っているLINEグループで情報を共有した。現場と消防局とは「Live View119」を使って現場の映像を送ることができた。そういうことを通じて、いざというときには私たちの町内会では(速やかな情報伝達をするために)LINE一つで情報連絡とか共有化とか安否確認とかを進めようと思い、それを今年度の柱にしようと思っている。
- ▶ 「私たちの町内会は初めの一步としてLINE公式アカウント、LINEオープンチャットの開設に取り組み各年代のつながり創出を目指します!」 今年からデジタル担当となり、何をやらたらいいかわからなかったが、先ほどの皆さんの発表が勉強になって、やはりLINEが一番使いやすいのだなと思った。町内会そもその目的である「つながり」を創出していきたい。難しいといってやらないのではなくて、まずは一歩でも半歩でも踏み出すことが大事だなと感じました。



町内会デジタル化推進事業 実施報告会

開催レポート



プログラム

事例発表 13:45~15:10
意見交換会 15:45~16:40

開催日 令和7年1月26日(日)

時間 13:30~16:45

会場 仙台市二日町第五仮庁舎 10Fホール
(オンワード樺山仙台ビル)

主催: 仙台市

お問い合わせ



仙台市市民局 市民活躍推進部 地域政策課

[TEL] 022-214-6129 [E-mail] sim004070@city.sendai.jp

実施報告会に関する情報や当日の事例発表資料はホームページからご覧いただけます。

URL https://www.city.sendai.jp/chiiikisesaku-kikaku/kurashi/r6_digital/r6dezitaruzissihoukoku.html

当日の動画も
ご覧いただけ
ます!!



事例発表

青葉区
南吉成町内会

集会所利用をデジタル化でもっと身近に



発表者 会長
柳内 俊雄氏

【課題として捉えたこと】

当町内会には2カ所の集会所がありますが、施設利用の予約は平日の午前9時から10時の間に、紙の予約表に記入する必要がありました。空き状況が分かるのはこの1時間に限られるため、お勤めの方や中高生には予約しづらく、多くの方に集会所を利用してもらえるための体制づくりが必要ではないかと考えていました。

【課題解決のために取り組んだこと】

集会所の各施設利用の予約をデジタル化し、24時間予約を可能にする「RESERVA(レゼルバ)」というシステムを導入しました。ネット上に空き情報を掲載することで、いつも利用していただく方以外に、例えば中高生や町内外の方にも手軽に予約いただき、集会所利用の活性化につなげたいと考えています。



宮城野区
鶴ヶ谷三丁目町内会

文書作成や管理・保存をもっとスマートに！



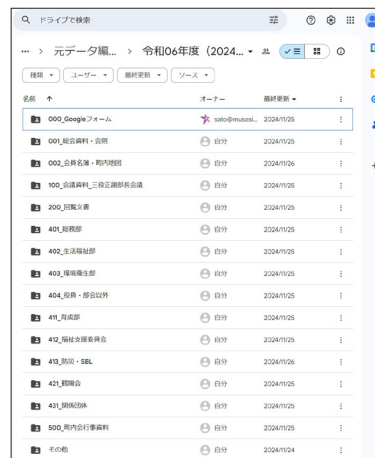
発表者 会長
小原 伸氏

【課題として捉えたこと】

町内会員の高齢化や、町内会活動への参加者の減少といった課題解決に向けて、忙しい現役世代にも町内会の活動を知ってもらうことで参加を促し、町内会を活性化させる必要性を感じていました。

【課題解決のために取り組んだこと】

活動をタイムリーに知ってもらえるよう、データの保管場所を変更。USBメモリからGoogleドライブにしたことで、データを紛失する心配がなくなり、物理的なデータのやり取りが不要になり、効率化できました。また、「LINEオープンチャット」を使って資料の共有や、会員間のコミュニケーションの活性化も進めています。



若林区
大和中倉町内会

LINE公式アカウントを使った若い世代への情報発信



発表者 総務部長
石井 健人氏

【課題として捉えたこと】

若い役員の担い手が少ないことから、高齢化が進み、数多く開催しているイベントにも、同じメンバーが参加していることが課題でした。イベントなどの周知も、回覧板だけでは伝達が遅くなっていました。

【課題解決のために取り組んだこと】

LINEは多くの人が利用しており、導入が容易であるという理由から「LINE公式アカウント」を作成しました。総会の資料が共有できるなど、無料である程度の機能が備わっている点もメリットが大きいと感じています。若い世代にも届けたい情報の周知も格段に速くなり、登録者数増に取り組んでいます。



太白区
緑ヶ丘東町内会

LINEオープンチャットで楽々情報発信



発表者 副会長
佐藤 淳一氏

【課題として捉えたこと】

町内会の会員に対して、町内会の情報を発信したり、会員の意見や考えなどをタイムリーに公開したりする方法を試行錯誤してきました。また、これまでホームページを作成したり、「LINE公式アカウント」を開設したりしましたが、利用者数は伸び悩んでいました。

【課題解決のために取り組んだこと】

「LINEオープンチャット」を導入し、会員の登録を増やそうとチラシなどで勧誘しながら、町内会活動を発信。町内会活動への抵抗感を軽減することによって、力を貸してくれるサポーターが参加しやすくなる環境を作ることによって、役員のなり手不足という課題解決につなげたいと考えています。



泉区
鶴ヶ丘三丁目町内会

Googleフォームを活用した在宅避難訓練



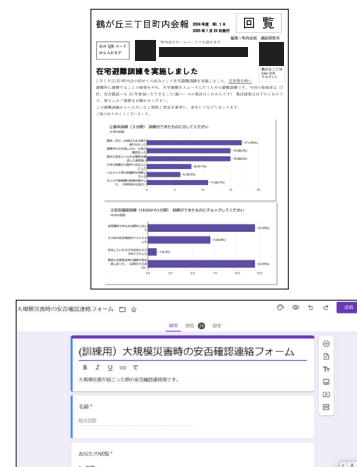
発表者 会長
諏訪部 哲司氏

【課題として捉えたこと】

これまで、アナログな手法で行っていた安否確認を、デジタル化することで、データ集約のスピードが上がり、状況に応じた支援体制が構築できるのではないかと考えていました。

【課題解決のために取り組んだこと】

Googleフォームを使ったクイズなどを町内会のイベント時に発信して、デジタルに慣れる機会をもち、高齢者も活用できるように工夫しました。防災に関する研修では、安否確認の練習を実施しています。このような実践を積み重ねることで、Googleフォームを活用した在宅避難訓練につなげていこうと取り組んでいます。



\\ アドバイザーから応援メッセージ //

《MUSASI D&T株式会社》

佐藤 里麻氏 木村 一也氏

仙台市と議論を重ねながら持続可能な町内会デジタル化を模索してきました。当初不安そうな表情も見られましたが、終了時には「自分たちで進めていけそう」との声も多く、手ごたえを感じています。特別なスキルを使わず、低予算でも可能で、まずは小さくでも始めてみるのが大切です。この取り組みがさらに広がるのであれば大変嬉しい限りです。

《株式会社KITABA》

酒本 宏氏 松田 沙織氏

半年間に渡り町内会の皆さんと一緒に検討しましたが、支援のたびに次々と質疑をいただき、デジタルのより良い使い方を主体的に模索される姿が印象的でした。デジタル化は地域内に普及させていくことがなによりも大切です。研修会などをやりながら広めていってください。本事業の知見が広く共有され、仙台市全体としてデジタル化が進展することを期待しております。

《認定NPO法人まちづくりスポット仙台》

渡邊 一馬氏 岩間 友希氏

本事業を通じ、地域ごとの創意工夫や取り組みから多くを学ばせていただきました。デジタルツールは便利ですが、急激な変化は不安を招くことも。紙も上手に使いながら、皆様が無理なく参加できる方法を、私たちまちづくりスポット仙台も一緒に模索してまいります。小さな変化を積み重ね、地域の絆を大切にしながら歩みを進めてまいりましょう。

